



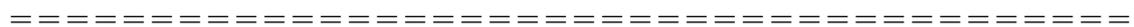
四万十市ふるさと応援団 ニュース《第1号》 - 2010.10.27 -

コスモスが風に揺れ、菊の花が香る季節となりましたが、団員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび「四万十市ふるさと応援団」ニュースの第1号として、本市の旬の情報をお届けします。



★ 市長からのお礼



団員の皆さん、こんにちは。市長の田中全（たなかぜん）です。

このたびは四万十市ふるさと応援団にご入団いただき心から感謝いたします。

また、お申し込みの際には心温まるエールをたくさんいただきました。本当にありがとうございます。

さて、8月から全国公募を開始した当応援団ですが、おかげさまで北は北海道、南は九州大分県、さらに海外にお住まいの方まで152人（10月27日現在）の方にご入団いただいております。今後は皆さんのサポートをいただきながら、ふるさと四万十市をもっともっと元気していきたいと思っています。

といっても堅苦しくお考えいただく必要はありません。皆さんにお願いしたいのは、四万十市を「愛してほしい」、「気にかけてほしい」ということです。また、当市からは随時、市の最新情報をお届けしますので、是非、皆さんからは幅広いご意見をお寄せいただき、お互いの交流を深めながら仲良くさせていただきたいと思っております。

そして当市を気にかけてくださるお気持ちの輪がさらに広がることを願いつつ、行政としても皆さんにとって誇れるふるさとであり続けるために、当市の魅力を守り育て、未来へ引き継いでいけるようがんばります。

どうか今後も更なるご協力と末永いお付き合いをよろしく願いいたします。

★ 四万十川ウルトラマラソン 過去最多、約2,000人が出走

=====

10月17日(日)、第16回四万十川ウルトラマラソンが開催されました。

平成6年から四万十市、四万十町などの主催で開催しているこの大会は、100kmと60kmの部があり、毎年全国各地から集まった約2千人のランナーが、大会スタッフやボランティアのサポートと住民の声援に支えられながらゴールを目指します。

この大会の魅力は、なんと言っても最後の清流「四万十川」の雄大な景色を堪能できること。四万十川名物「沈下橋」(＝増水時に橋が流されないように水没するように設計され、水没時の水の抵抗を少なくする為、橋の欄干はない。)を渡るのもスリルがあつておもしろい。

コース上では、地元の人達が思い思いの場所に陣取り、ボランティアとともに温かい声援を送り続け、ランナーをゴールまで導いてくれます。

そして、完走するのに重要なポイントである給水・給食も充実。5キロ以降の約2.5キロ毎に水。5キロ毎にスポーツドリンク、バナナ。20キロ毎にはおにぎり、パンなどの給食。その他にもカステラ、みそ汁、レモン、梅干し、みかん等を準備し、ランナーをサポートしています。

今年の大会は、60kmの部で定員を200人増やし、1,988人(100kmが1,494人、60kmが494人)が出場し、76.3%にあたる1,516人(100kmが1,102人、60kmが414人)が完走しました。

優勝者は次のとおり。

男子100km 総合：阿部新太郎(兵庫県)

女子100km 総合：永井希世美(大阪府)

男子60km 総合：山根文雄(大阪府)

女子60km 総合：小倉通子(兵庫県)

詳しくは下記 URL へ

<http://www.city.shimanto.lg.jp/kyouiku/sport/ultra/ultra16/ultra16.html>

※P.S

当応援団事務局の担当者が60kmの部に出場し、なんとか完走しました。当ニュースの一番最後にコース紹介を中心とした完走記を掲載してますので、興味とお時間のある

方は是非ご覧ください。

★ 黒尊川流域の自然と紅葉を楽しもう —しまんと黒尊むらまつり—

=====

※本文は削除

■ ご意見、ご提言の募集

=====

※本文は削除

□ ウルト라마ラソン60km完走記 —事務局担当者が走ってきました—

※本文は削除